

県と市町村の連携・協働による「奈良モデル」を推進します。



「奈良モデル」に基づく市町村との協働まちづくり、市町村支援による行政効率化

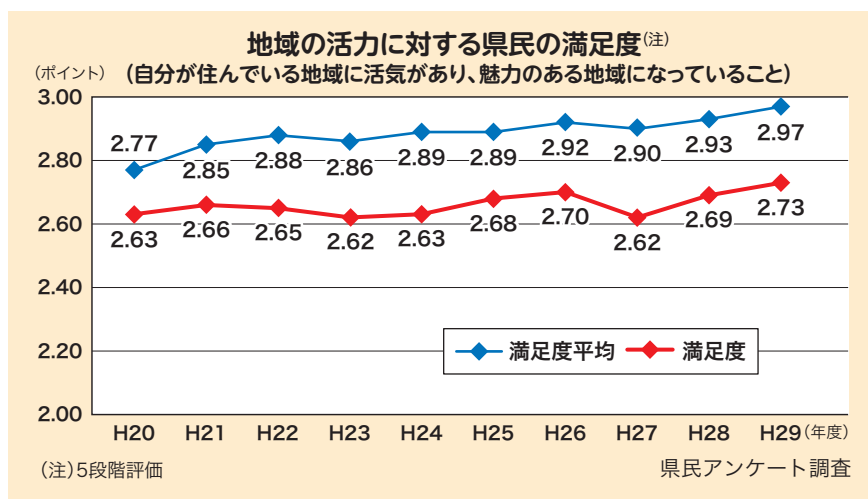
主担当部局：地域振興部



奈良県・市町村長サミット

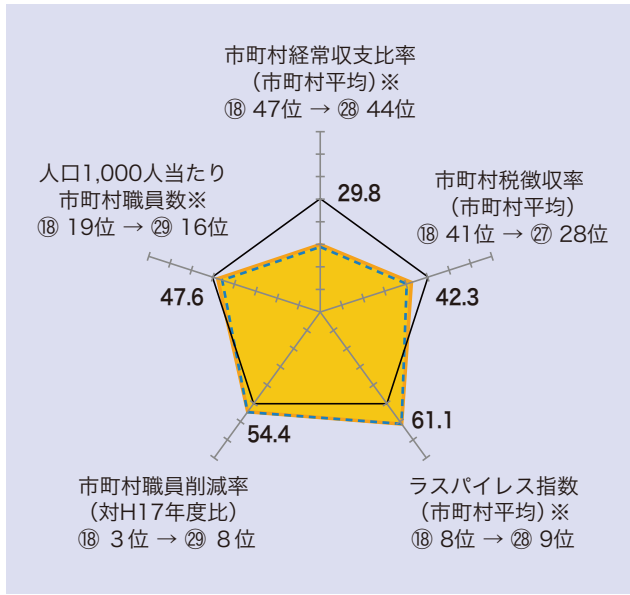
目指す姿

平成39(2027)年度までに、県民アンケート調査における**地域の活力に対する県民の満足度**(自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること)を**3.00ポイント**に向上させます。

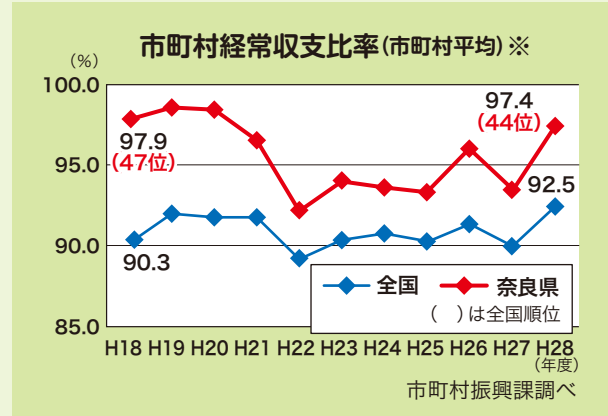


目指す姿を達成するための取組状況

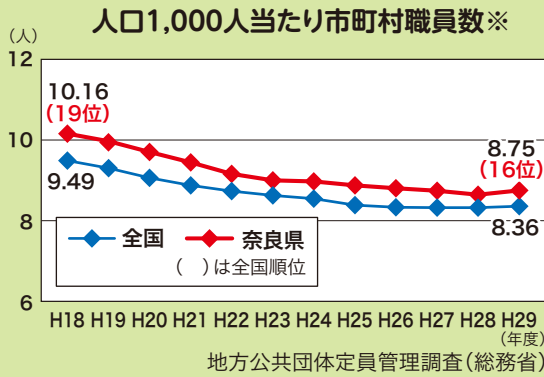
● 現状



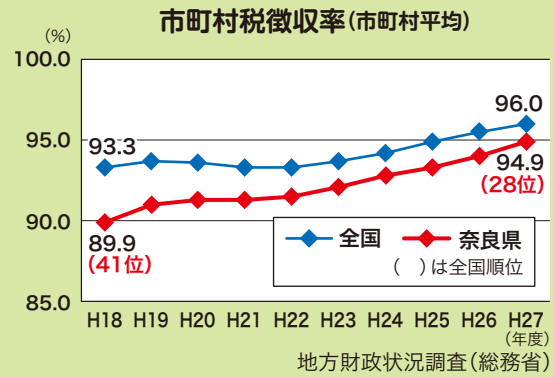
● トレンド



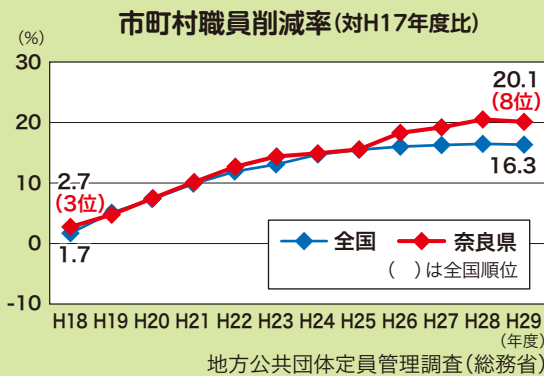
市町村経常収支比率(市町村平均)は、平成18年度以降、全国平均を常に上回っている状況です。平成28年度の県市町村平均は全国を4.9ポイント上回り、引き続き財政健全化に向けた取組が必要です。



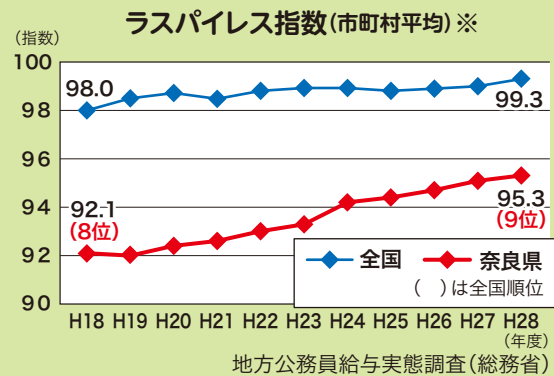
人口1,000人当たり市町村職員数は、平成18年度と比較して1.41人減少していますが、全国と比べると高い状態が続いています。



市町村税徴収率は、各市町村の徴収対策への取組により、平成21年度以降、上昇を続けており、平成27年度も、前年度比で0.9ポイント上昇しました。



市町村職員削減率は、対平成17年度比で20.1%となっており、全国平均を3.8ポイント上回っています。



ラスパイレス指数は、平成18年度と比較して3.2ポイント上昇しましたが、全国と比較すると低い状態が続いています。

「奈良モデル」に基づく市町村との協働まちづくり、市町村支援による行政効率化

※は数値の低いものが上位になる指標です。



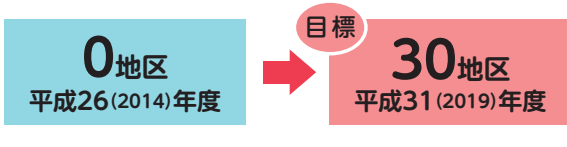
戦略 1

市町村と連携したまちづくりを推進します。

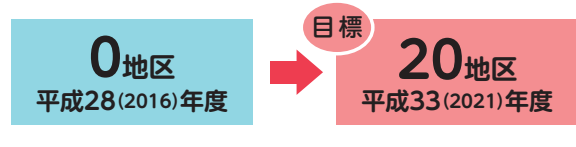
主担当課：まちづくり推進局 地域デザイン推進課

戦略目標

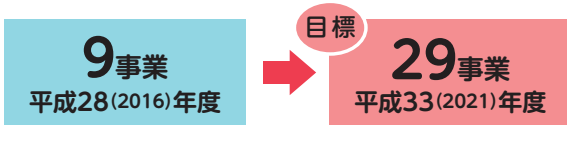
まちづくり基本構想策定数



まちづくり基本計画策定数

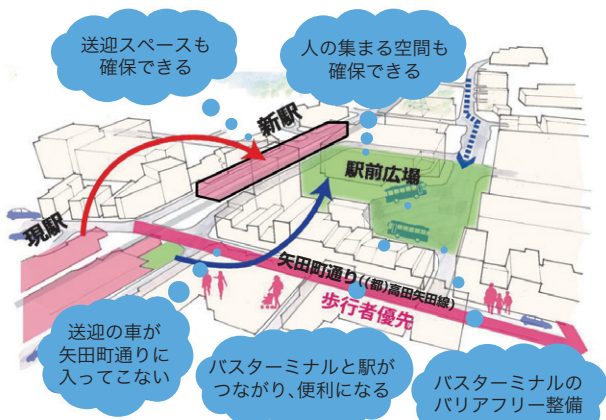


まちづくり個別協定締結数



主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
包括協定締結に向けた支援	各市町村ごとにまちづくりの取組を支援		
基本構想策定及び基本協定締結に向けた支援	各地区ごとにまちづくりの取組を支援		
基本計画策定に向けた支援	各地区ごとにまちづくりの取組を支援		
個別協定締結に向けた支援	個別事業ごとにまちづくりの取組を支援		



大和郡山市 近鉄郡山駅周辺地区
近鉄郡山駅前の整備方針



桜井市 大神神社参道周辺地区
参道の整備イメージ(平成30年2月時点)

戦略 2

「奈良モデル」に基づく市町村支援により、行政効率化を推進します。

主担当課：地域振興部 市町村振興課

戦略目標

市町村経常収支比率の全国順位

44位
平成28(2016)年度



上昇
平成34(2022)年度

事務の共同処理(法定)件数

41件
平成28(2016)年度



43件
平成34(2022)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
県域ファシリティマネジメントの取組	県域水道一体化、ゴミ処理施設の広域化、市町村と連携した公有資産を活用したまちづくりの推進		
医療・介護分野一体の取組	地域医療構想の実現、医療費適正化の推進、国民健康保険広域化の推進		
県域財政マネジメントの取組	市町村財政の見える化、分析・検証による健全化の推進		
県域パーソネルマネジメントの取組	採用共同試験・人事交流の実施、市町村の人材育成支援		
県域アセットマネジメントの取組	市町村が管理する道路施設の維持修繕の推進		
事務・行政サービスの「共同アウトソース」の推進	民間との連携・協働の推進		
奈良県・市町村長サミットの開催	意見交換会・勉強会の実施		



上牧町、王寺町及び河合町における水道施設共同化に関する覚書締結式



奈良県・市町村長サミット

「奈良モデル」に基づく市町村との協働まちづくり、市町村支援による行政効率化